

週 報

1991年2月17日 復活前第6主日

巻 11 47号

1990年度教会主題

「新会堂を献げる」

聖句 それは地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人に似ている。洪水になって川の水がその家に押し寄せたが、しっかり建ててあったので、揺り動かすことができなかった。

ルカによる福音書 6章48節

- 目標 1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
2. 新会堂を完成させていく。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

会堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

振替 横浜 9-13994

牧師宅 〒235 横浜市磯子区祥光台 5丁目6-3-304

電話 045-833-6616

牧師 秋吉 隆 雄

一 今週の誕生者一

一 集 会 状 況 一

	男	女	計
主 日 礼 拜 2/10	16	59	75
教 会 学 校 2/10	12	18	30
入 門 講 座 I 2/14	1	9	10
入 門 講 座 II 2/14	1	1	2

された。「礼拝」だけに傾けば自己満足に陥り、「宣教」だけに傾けば単なる社会活動となる。礼拝は旧約聖書においては神との「出合い」、新約聖書においては神の民の「公務」として理解された。初代教会のクリスチャンたちは礼拝を「公務」としてとらえたと聞きなるほどと思った。礼拝の意義は、主イエスの福音を時間と空間を集約し、共同体をもって現実化する、即ちキリストの存在を確認することである。その後、先生は礼拝式次第にそって、それぞれの意味を神学的に説明して下さった。

↑さんは律法的には言わないが礼拝に対する緊張感があって当然である。それは受け身的でなく、神に向かう積極的参加の姿勢があると力説された。又、信仰を表現する形があるのではないかと話された。Mさんは役員会で話し合った新会堂になってからの礼拝のあり方について説明して下さった。暖房がなく、とにかく寒く文字通り修養になった。

一 牧 師 室 か ら 一

新会堂での礼拝に備えて「礼拝」を主題に、教会全体一日修養会を持った。講師の今橋先生が、まず礼拝について基本的なことをお話して下さった。教会は、神に対する「礼拝」とこの世に対する「宣教」の二つの柱の適正な緊張関係の中に立っていることを強調